

# 感染症から子どもたちを守るために



南多摩保健所保健対策課  
感染症対策担当

令和6年6月11日

1

## 本日の内容

- 感染症とは
- プールでうつる感染症とは？
- 予防するためのポイント
- 麻しんにも注意！

2

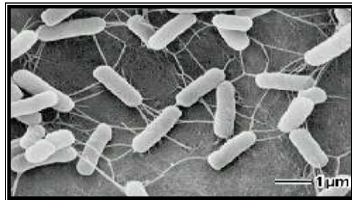
## 感染と感染症

細菌やウイルス等の病原体が体内に入り、増殖することを「感染」という。

その結果、生じる疾病を「感染症」という。

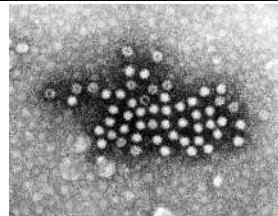
### <細菌>

結核菌、腸管出血性大腸菌  
赤痢菌・チフス菌  
A群溶連菌・黄色ブドウ球菌等



### <ウイルス>

インフルエンザ・ノロウイルス  
コロナ・アデノウイルス・  
ロタウイルス・RSウイルス  
麻疹ウイルス・風疹ウイルス等



3

## 潜在期間と不顕性感染

潜伏期間⇒ 病原体（細菌やウイルス等）が体内に侵入してから症状が現れるまでの期間  
(例)ノロウイルス 24～48時間

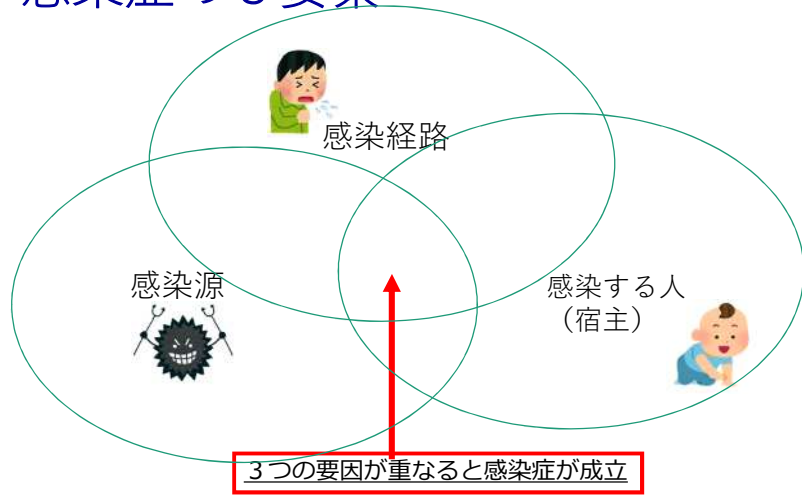
不顕性感染⇒ 感染していても症状があらわれず  
(気づかず) に治癒すること

- \* 園児に比べて、職員（成人）は症状が出なかったり、軽いことが多い。
- \* 不顕性感染の場合も病原体は排出されることがある。

感染性を有する期間は疾患によって異なる。  
潜伏期間中や症状がおさまってからも病原体が  
排出される場合がある。

4

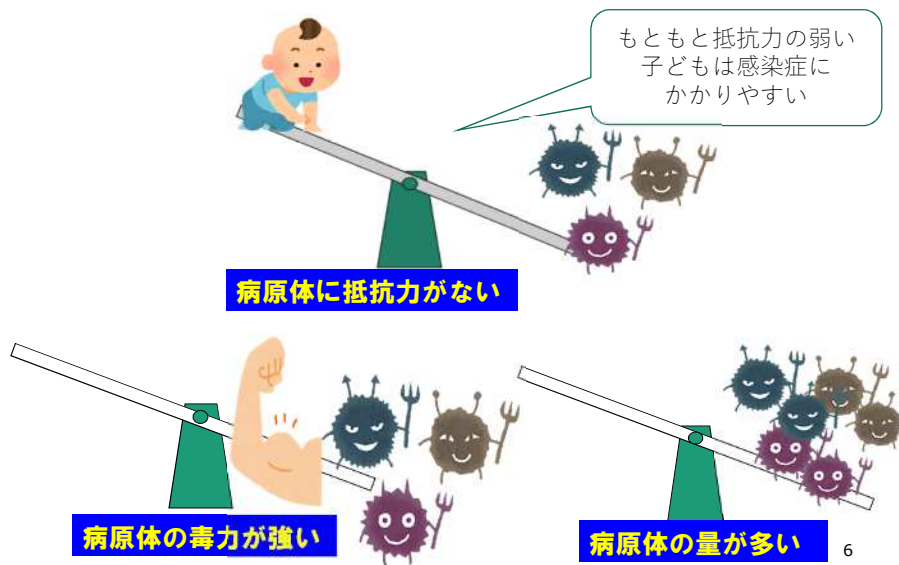
# 感染症の3要素



5

感染症とは

# どんな時に「うつる」？



6

# 感染症対策の3つの柱



出典：厚生労働省 介護職員のための感染対策マニュアル（通所系）より抜粋

## プールと感染症



- 肌の露出
- 粘膜の間接的接触  
(プール水、共用タオル、ビート板等)
- 集団行動

→ 感染経路が成立しやすい  
感染源が宿主と接触する機会が多い

- 体力の消耗
  - 体温差
- 宿主が発症しやすくなる



## プールでうつりやすい感染症

### 〈飛沫（ひまつ）感染〉

ヘルパンギーナ    咽頭結膜熱（プール熱）  
手足口病

### 〈接触感染〉

伝染性軟属腫（水いぼ）                      ウイルス性結膜炎  
伝染性膿痂疹（とびひ）                      ヘルパンギーナ  
咽頭結膜熱（プール熱）                      手足口病

### 〈経口感染〉

ヘルパンギーナ    手足口病

## ヘルパンギーナ

1歳～4歳児に多く、6～8月にかけて流行する。

飲み込みツライ...

- 【病原体】    コクサッキーA群 等
- 【感染経路】 飛沫、接触、経口（糞口）感染
- 【潜伏期間】 3～6日（3～4日が多い）
- 【症状】 高熱と口蓋垂付近の水疱（有熱期間は2～4日）  
嚥下時の咽頭痛 → 症状は1週間程度で消失
- 【治療】 対症療法（症状に合わせた治療）脱水症状に注意。



- 【留意事項】 ・回復後も糞便に2～4週間にわたりウイルスが排泄するため、おむつ等の取扱いに注意する。
- ・登園目安は、発熱や咽頭痛・下痢症状が改善し、普通の食事ができるようになり、本人の全身状態が安定してから。  
※ウイルスの排出期間が長いため、流行の阻止を目的として登園停止は現実的ではない。

## 咽頭結膜熱（プール熱）

プール熱と呼ばれることがあるが、塩素消毒が十分なプールの水を介しては感染しにくい（それよりも、接触感染によって感染することが多い）。

【病原体】 アデノウイルス 3、4、7、11 型

【感染経路】 飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】 2～14日

【症状】 発熱、咽頭炎（咽頭痛）、結膜炎。その他、リンパ節が腫れる、腹痛、下痢など。症状は1週間程度で消失

【治療】 対症療法

- 【留意事項】
- ・ 感染力が強いため、タオル等の共有は厳禁。
  - ・ 回復後も糞便にウイルスが排泄されるのでおむつ等の取扱いに注意
  - ・ 登園の目安は主な症状（発熱、咽頭発赤、眼の充血）が消失してから2日を経過するまで。
- ※ 学校保健安全法では第2種感染症

11

## 手足口病

口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る感染症。  
例年、報告数の90%前後を5歳以下の乳幼児が占めています。

【病原体】 コクサッキーウイルスA16、10型 エンテロウイルス71等

【感染経路】 飛沫、接触、経口（糞口）感染

【潜伏期間】 3～6日（3～4日が多い）

【症状】 有痛性口腔粘膜発疹（アフタ様）  
手掌、足裏の中心とする水疱性発疹が同時に生じる。  
発熱・発疹・口内炎（有熱期間は1～3日）

【治療】 対症療法  
口腔内水泡の刺激にならない食事と水分補給を。

- 【留意事項】
- ・ 回復後も糞便に2～4週間にわたりウイルスが排泄するため、おむつ等の取扱いに注意する。
  - ・ 登園目安は、発熱や咽頭痛・下痢症状が改善し、普段の食事ができるようになり、本人の全身状態が安定してから。
- ※ウイルスの排出期間が長いため、流行の阻止を目的としての登園停止は現実的ではない。

12

プールでうつる感染症とは？



出典：国立感染症研究所ホームページ

13

プールでうつる感染症とは？



出典：国立感染症研究所ホームページ

14

## 伝染性軟属腫（水いぼ）

主に子どもがかかるウイルスによる皮膚感染症

【病原体】伝染性軟属腫ウイルス（ポックスウイルス）

【感染経路】接触感染（感染力は弱い。皮膚やタオル等を介して感染）  
※アトピー性皮膚炎児に多い（掻くことで広がる）

【潜伏期間】2～7週間。時に6ヶ月。

【症状】光沢を有する2～10mmの半球状丘疹（中心臍窩）が散在

【治療】除去または経過観察

※数ヶ月から数年で抗体を獲得して自然治癒する。

除去するか自然治癒を待つかはかかりつけ医との相談。

【留意事項】プールの水を介して感染はしないが（塩素濃度が保たれている場合）、  
タオル、浮き輪、ビート板、タオル等を介した感染がある。

- ・患部を覆ってプールに入る。
- ・タオル、浮き輪、ビート板、タオル等は共有しない
- ・プールの後はシャワーで体をよく流す。保湿も効果的。



© 社団法人日本皮膚科学会



# ウイルス性結膜炎

昔から俗に「はやり目」と呼ばれています。発症はどの季節でも起こりますが、夏に多い傾向があります。

① 流行性角結膜炎

【病原体】 アデノウイルス 8、19、37型 【潜伏期間】 2～14日

② 急性出血性結膜炎

【病原体】 エンテロウイルス 【潜伏期間】 1～3日

③ 咽頭結膜炎（プール熱）

【病原体】 アデノウイルス 3型、4型、7型、11型 【潜伏期間】 2～14日

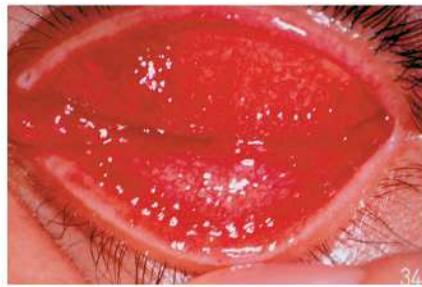
【感染経路】 飛沫、接触感染

※結膜炎症状がある間は感染の可能性あり

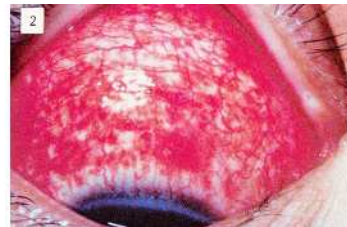
【治療】 対症療法

※抗菌薬を投与し混合感染を予防することもある

**【留意事項】** ・感染力が強いので、タオル等の共有は厳禁。  
 ・保育所内で流行性角結膜炎が発生した場合には、ドアノブ、スイッチ等の複数の人が触れる場所の消毒を励行を。



流行性角結膜炎



急性出血性結膜炎

出典：国立感染症研究所ホームページ

# 伝染性膿痂疹 (とびひ)

プールでうつる感染症とは？

かゆみが強く、かきこわした手で他の部位や周囲に、触れると、さらにそこから広がっていく

かゆい！

【病原体】 A群β溶レン菌→痂皮性膿痂疹（好発年齢・季節性なし）  
黄色ブドウ球菌→水疱性膿痂疹（乳幼児に多く、夏に多い）

【感染経路】 接触感染

【潜伏期間】 2～10日。長期の場合もある。

【症状】 痂皮性膿痂疹：全身性の膿包、痂皮

水疱性膿痂疹：顔面、四肢、体幹に生じる豆大球状の水疱。容易に破れ、びらん形成←感染性高い

【治療】 抗菌薬の内服、外用薬

【留意事項】 ・手指を介して周囲に拡大するため、十分に手洗いを行う。  
・浸潤部位はガーゼで被い、他の児が接触しないようにする。  
・治癒するまでは、プールは控える。

19

プールでうつる感染症とは？



© 社団法人日本皮膚科学会

20

## もっと詳しく知りたい方は…

東京都感染症情報センター  
Tokyo Metropolitan Infectious Disease Surveillance Center

English Multilingual Translation(TEST) 更新日：2016年5月19日

東京都  
インフルエンザ  
最新情報

トピックス

ジカウイルス感染症  
※WHOによると、中南米等で流行しているジカウイルス感染症とは？

流行警報・注意報

インフルエンザ（警報：2016年2月12日）  
※第13週（3月28日から4月3日まで）において岐阜県未満以下となったために東京都のインフルエンザ流行警報は終息しました

感染症発生動向調査

感染症発生動向調査とは 届出基準・届出様式  
東京都感染症週報（最新：週報告-19週・月報告-4月）

感染症についての情報を掲載しています

- 感染症情報メニュー
- WEB感染症発生動向調査
- お問い合わせ
- 東京都健康安全研究センター
- 東京都衛生保健局感染症対策課
- 東京都
- 地方衛生研究所ネットワーク
- 報道発表
- ご利用にあたって
- 更新履歴

## 予防するためのポイント

集団生活の場では、初期段階において感染拡大をいかに食い止めるかがポイント！

1. 感染症の特徴を知る **OK**
2. 感染経路を遮断する対策
3. 早期探知・対応をこころがける

## 感染経路を遮断する対策

感染経路	内容	主な感染症
飛沫感染	会話やくしゃみ・咳などをした時のしぶき(飛沫)を介して感染	ヘルパンギーナ 咽頭結膜熱(プール熱) 手足口病
接触感染	皮膚や粘膜にいる病原体が手指や器具などを介して感染	伝染軟属腫(水いぼ) ウイルス性結膜炎 伝染性膿痂疹(とびひ) ヘルパンギーナ 咽頭結膜熱(プール熱) 手足口病
空気感染	しぶき(飛沫)の水分が蒸発した菌・ウイルスが空気の流れて乗って空中を浮遊し、それを吸い込むことで感染	ヘルパンギーナ 手足口病 麻疹
経口感染	病原体に汚染された水や食べ物、手指などが経口的に消化管に入ることによって感染	腸管出血性大腸菌 コレラ、赤痢
血液感染	血液中の病原体が注射や傷口の接触によって体内に入り感染	B型肝炎、C型肝炎 エイズ

## 感染経路を遮断する対策 飛沫感染

○感染している人が咳やくしゃみをした際に飛ぶ、病原体が含まれたしぶきを直接吸い込むことによって感染(1~2mの範囲)



対策：咳エチケット、換気

### 咳やくしゃみをするとき…



手で押さえる  
→その手で触ったドアノブ  
など周囲のものに  
ウイルスが付着。  
→ドアノブなどを介して  
他の人に病気をうつす  
可能性あり。



せきやくしゃみをするとき、  
しぶきが**2m** 飛びます。

(出典：厚生労働省ホームページ)

### 正しい咳エチケット

1. マスクを着用する



鼻からあごまでを  
覆い、隙間がない  
ようにマスクをつ  
けましょう。

2. ティッシュ・ハン  
カチで口を覆う



口と鼻を覆った  
ティッシュは、  
すぐにゴミ箱に  
捨てましょう。

3. 上着の内側や袖  
で覆う



(出典：厚生労働省ホームページ)

## 正しい咳エチケット



手洗いが最も大切です。  
アルコールを含んだ消毒液を手にすり込むことも有効です。

素手で咳・くしゃみを受け止めた場合は手を洗う

※ 液体石けんが推奨されます。

## 感染経路を遮断する対策 接触感染



- 直接接触して感染（握手、だっこ、キス等）
- 間接的に接触して感染（ドアノブ、遊具などを共用）
- 接触で直接感染するのではなく、**病原体が付着した手で**口や鼻、目、傷のある皮膚を触ることで感染することが多い。



**対策：手洗い、手指消毒、効果的な手袋の着用**



## おむつ交換での注意

- おむつ交換の際に手袋はつけていますか？
- 使い捨てエプロンはつけていますか？
- 何人も連続でおむつ交換していませんか？
- 終わった後、手は洗いましたか？
- おむつ交換をした場所は消毒しましたか？



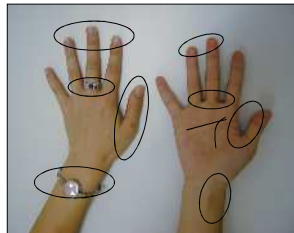
29

## 手洗い

### 手洗い前の準備

- 爪は短く切っていますか？
- 時計や指輪をはずしていますか？

Check!



### 汚れが残りやすいところ

- 指先
- 指の間
- 親指の周り
- 手首
- 手のしわ

①石鹸を泡立て、手のひらをこする



②手の甲をのばすようにこする



30

予防するためのポイント

③指先・ツメの間を念入りにこする



④指の間を洗う



⑤親指と手のひらをねじり洗いする



⑥手首も忘れずに洗う



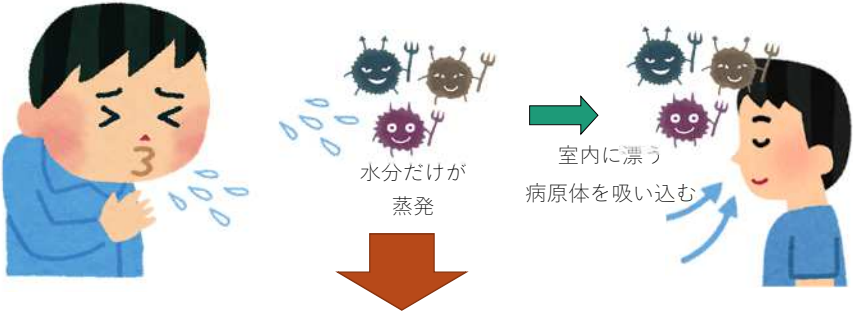
流水で流し、ペーパータオルや個人用のタオルで拭き取る

31

予防するためのポイント

## 感染経路を遮断する対策 空気感染

○感染している人が咳やくしゃみをした際に飛ぶ、病原体が含まれたしぶきが乾燥し、病原体（飛まつ核）が空気の流れによって拡散、これらを吸い込むことによって感染



水分だけが蒸発

室内に漂う  
病原体を吸い込む

**感染を避けるのは難しい、有効な対策はワクチン接種**

32



## 早期探知・対応をこころがける

### ①日頃からの園児・職員の健康観察！

- 職員も含めて体調不良者が増えているかに注意する
- 感染症と診断された園児・職員がいる場合には、何をどのように注意すればよいのか、保護者やスタッフに具体的に知らせる。  
症状が出た場合の対応方法も知らせる。
- 体調不良者は休む（スタッフも！！）

### 地域の流行状況に注意する！

- 地域で流行している時には、当然 園児・職員も流行している感染症にかかりやすくなる。

### ①日頃から園児・職員の健康観察！



## ②地域の流行状況に注意する！



<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/minamitamagyomu/kansen/shuuhou.html>

では、南多摩保健所管内での  
感染症週報がご覧頂けます！

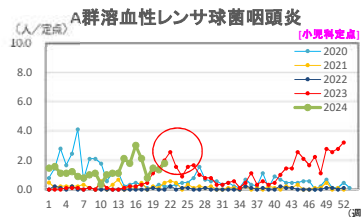
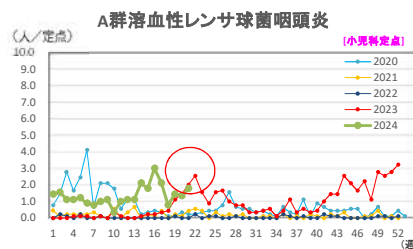
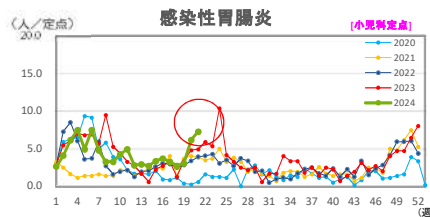
トップページから

- 「業務内容から探す」をクリック
- 「感染症に関すること」をクリック
- **南多摩感染症週報**



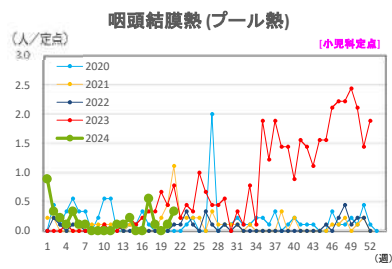
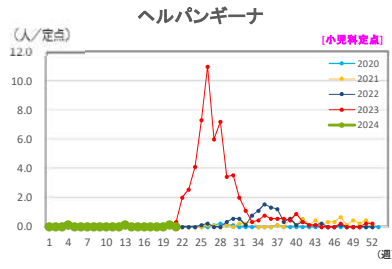
## 南多摩管内の最近の発生動向は？

【第21週】

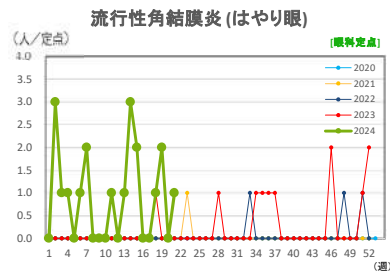
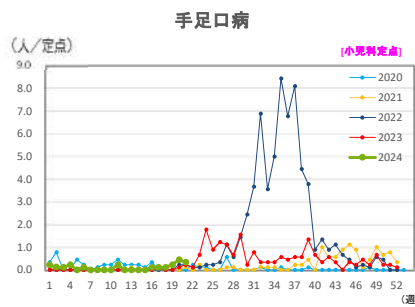


定点報告は、感染性胃腸炎が7.22 (6.11) と増加し、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎1.78 (1.33)、新型コロナウイルス感染症3.36 (3.29) は微増となっています。

# 南多摩管内の最近の発生動向は？ 【第21週】



# 南多摩管内の最近の発生動向は？ 【第21週】



## 集団発生時かも・・・？

### ○保健所へ報告

(042-371-7661→感染症対策担当へ)

- ・まずは電話で報告を  
発症日、人数（園児？職員？）症状  
重症者の有無、園での対策等
- ・発生状況を保健所へ報告（FAX）  
南多摩保健所HPから様式をダウンロードできます。
- ・新たな発生が一定期間ないことを確認し、終息



### ○保護者へ報告

- ・掲示等で情報提供を（発生状況、対策など）

### ○主管課、教育委員会へ報告

39

## 集団発生時の報告基準について

### 社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について より

・社会福祉施設等の施設長は、次のア、イまたはウの場合は、市町村等の社会福祉施設等主管部局に迅速に、感染症または食中毒が疑われる者等の人数、症状、対応状況等を報告するとともに、併せて保健所に報告し、支持を求めるなどの措置を講ずること

ア. 同一の感染症若しくは食中毒によるまたはそれらと疑われる**死亡者**または**重篤患者**が**1週間以内に2名以上発生**した場合

イ. 同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が**10名以上**又は**全利用者の半数以上発生**した場合

ウ. ア及びイに該当しない場合であっても、**通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合**

40

## まとめ プールでの感染を予防するために

- ・体調のすぐれない時は、無理をさせない。
- ・原則として、症状がある時はプールに入れない。
- ・直前、直後のシャワーの徹底  
(プールに入る前、シャワーでよく下半身を洗うこと！)
- ・水泳直後のうがい・手洗い
- ・タオル、目薬などを共有しない
- ・更衣室、トイレ等の共有スペースの清潔と乾燥
- ・おもちゃ・ビート板・浮輪なども、できるだけ共有を  
さけ、共有した場合は、使用後の清潔と乾燥
- ・残留塩素濃度を保持する。

41

## 事前質問から...

Q熱中症対策として、保育園程度のプールの運動強度はどのくらいにあたるのか？

A. プールでどのような運動をするかによって異なるため、一概にどれとは言えない。

熱中症予防運動指針（次ページ参照）によると、気温や湿度、どのような運動をするかによって程度が決まるので、参考にしてほしい。

42

## PART 3 熱中症予防のための 運動指針

予防するためのポイント

この指針は、熱中症予防5ヶ条のポイントを理解したうえで、環境温度に応じてどのように運動したらよいかの目安を示したものです。環境温度の基準は湿球黒球温度(WBGT)に基づきました(16ページ参照)。しかし、現場ではWBGTが測定できない場合もあり、WBGTにおよそ対応する湿球温度、乾球温度も示してあります。実状に合わせて使用してください。

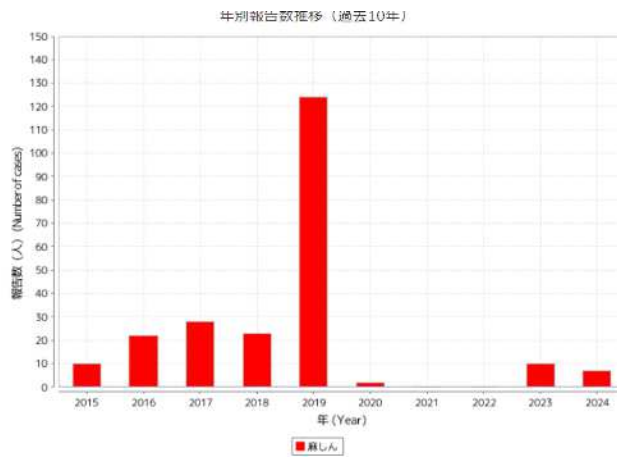
### 熱中症予防運動指針

WBGT	湿球温度	乾球温度	指針	
34-27-35	34	27	35	<b>運動は原則中止</b> 特殊の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべし。
33-27-34	33	27	34	<b>厳重警戒</b> (要しない運動を中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体調が上らないような運動は避け、10〜20分程度の休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動量を減または中止。
32-24-31	32	24	31	<b>警戒</b> (要しない運動を中止) 熱中症の危険が高いため、積極的に休憩をとる。適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
25-21-28	25	21	28	<b>注意</b> (要しない運動を中止) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の発症に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21-18-24	21	18	24	<b>ほぼ安全</b> (要しない運動を中止) 通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。高温やプランシなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

① 暑熱条件下の運動には適切な服装と適切な水分補給が重要である。  
② 暑熱条件下での長時間の運動は、脱水を引き起こす可能性がある。十分な水分補給を確保する。  
③ 暑熱条件下での長時間の運動は、熱中症のリスクを高める。運動量を増やさないように注意する。  
④ 暑熱条件下での長時間の運動は、熱中症のリスクを高める。運動量を増やさないように注意する。  
⑤ 暑熱条件下での長時間の運動は、熱中症のリスクを高める。運動量を増やさないように注意する。

## 麻しんにも注意！

麻しんにも注意！



東京都感染症情報センターより

## 麻疹にも注意！



- 麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症。
- 麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その**感染力は非常に強い**。
- 免疫を持っていない人が感染すると、**ほぼ100%発症**し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

## 麻疹にも注意！

- 感染すると約**10日**後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。
- **2～3日**熱が続いた後、**39℃**以上の高熱と発疹が出現します。



## 麻疹にも注意！

- 麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、**マスクのみで予防はできません。**
- **麻疹の予防接種**が最も有効な予防法といえます。また、麻疹の患者さんに接触した場合、**72時間以内に麻疹ワクチンの接種**をすることで、麻疹の発症を予防できる可能性があります。



## 麻疹にも注意！

ワクチン接種のタイミング

第一期定期接種

**(1歳児)**

第二期定期接種

**(小学校入学前1年間の幼児)**





## 最後に

- ・ 誰でも何らかの感染症にかかる可能性があり、感染症対策に「完璧」はありません。
- ・ 子どもの健康を守るために  
「少しでも感染のリスクを下げる行動」を、  
日常の保育に取り入れていくことが  
大切です。

49

## 参考リンク先

- 保育所における感染症対策ガイドライン（こども家庭庁）  
<https://www.cfa.go.jp/policies/hoiku/>  
（HP画面下の「保育所保育指針 等」を参照）
- 学校において予防すべき感染症の解説（文部科学省）  
<https://www.gakkohoken.jp/books/archives/211>
- 学校、幼稚園、保育所において予防すべき感染症の解説（日本小児科学会）  
[http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content\\_id=46](http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=46)
- 厚生労働省 麻疹について  
[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html)

50

みんなの力で.....

